

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し表すことができるようになろう。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになろう。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を広げられるようになろう。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「デザインや工芸など」 ◇鉛筆で表す。色を学ぶ、色を知る ◇模様のデザイン ○色、形が楽しいティッシュボックス 「鑑賞」 ○機能と美しさの調和。 ○伊藤若冲の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・線で表現することに興味を持ち線で形を表現し、グラデーションできる ・色彩で表現することに興味を持ち混色し、またグラデーションできる ・よく観察し、特徴などから単純化、誇張、装飾し新しい形を作ることができる。 ・新しい形、色の組み合わせを作成しリピテーション・グラデーションできる。 ・配色を工夫できる。変化とまとまりを考えられる。 ・アクリル絵の具を目的に応じ彩色することができる。 ・生活の中にデザインがどう生かされているかを考えながら鑑賞できる。 ・生活や社会を豊かにするデザインの考え方を理解する。 ・伊藤若冲の作品を楽しく鑑賞する
2 学 期	「絵や彫刻など」 ◇表したいものを生き生きとした立体に表す ○生命力を感じて 興味のある動物を生き生きと表す 「デザインや工芸など」 ◇木を暮らしに生かす ○木で作るスプーン・ナイフ 「鑑賞」 ○機能と美しさの調和	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいものの形や色彩、質感をとらえ立体に表すことができる。 ・構造を知り、特徴から発想を広げることができる。 ・生き生きとした姿を表現することに関心を持てる。 ・機能性、使いやすさ、美しさをもとに形を考えることができる。 ・自然物等を観察し特徴を形に生すことができる。 ・糸ノコ、彫刻刀、やすり等を安全に計画的に使うことができる。 ・用途を考え安全な塗装仕上げができる。 ・身近な用具と機能と美しさに関心を持ち鑑賞できる。
3 学 期	「絵や彫刻など」 ◇見ることからの発見◇ ○身の回りにあるものを描く 「鑑賞」 ○私にとって作ること	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩を観察し、とらえ方を理解し描き方を工夫して表す。 ・上履きの持つイメージや考えを表そうとよく観察できる。 ・気づいたこと発見したことを表すために 画用紙へ上履きをどのように配置するか工夫できる。 ライティング（光の方向・陰影）を工夫できる。 奥行や立体感、心象を色彩で工夫している。 パステル使い方を自分の狙いに合わせ工夫できる ・革や布等の質感の表現、背景（バック）の表現に工夫できる。 ・作品を通してものの形や色彩の美しさを感じ取るることができる。

3. 評価の観点と方法（三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している ・材料や用具の使い方などを身に着け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に全体のイメージでとらえることを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成や、装飾の目的や条件などを基に用いる場面などから主題を生み出し、調和の取れた美しさを考え表現の構想を持っている。 ・使う目的や条件などを基に使う者の気持ち、材料から主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさとの調和を考え表現の構想を練っている。 ・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、もとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものや生物の形や色彩の美しさをもとに表す活動に楽しく取り組もうとしている。 ・若冲の作品や関連する美術文化などの鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し創造的に表すことができるようになる。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになる。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を深められるようになる。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に進んで生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇身近なものを描く◇ ○形や色彩を観察し、奥行き表現方法を知り描き方を工夫して表す。 ◇形と色彩が織りなすイメージ◇ ○形や色彩を主役に表現し抽象画にチャレンジする。 「鑑賞」 ○西洋絵画を主体的に鑑賞する	・形や色彩を観察し、とらえ方を理解し描き方を工夫して表す。 ・奥行や立体感、心象を色彩で工夫している。 ・表現材料の使い方を自分の考えで工夫できる ・形や色彩が感情にもたらす効果を理解し、感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練り抽象的な表現を工夫できる。 ・イメージにつながるよう筆の運びや筆跡を工夫できる。 ・水彩(透明感のある色彩材料を重色によるグラデーション、にじみ、ぼかしによる偶然の要素を生かすことができる。 ・印象派、ロマン主義、ルネサンスの美術などの諸外国の文化に興味を持ち国際理解、美術文化に対する見方考え方を深めることができる。
2 学 期	「デザインや工芸など」 ◇生活に生きる伝統工芸◇ ○伝統工芸のデザイン性や技術に関心を持ち、蒔絵に触れ、工夫して表現する 「絵画や彫刻など」 ◇生命感あふれる表現・手を作る◇ ○人の持つ手の表情や動きに気づき、立体として表現する。 「鑑賞」 日本の伝統美術に関心を持ち主体的に鑑賞する	・伝統工芸を生かした文様のデザインを工夫できる。 ・伝統文化を鑑賞し蒔絵の簡易な形の技法を試みることができる。 ・和菓子の模型で季節感など表し、伝統の美を学ぶことができる。 ・人体のとらえ方を理解し表し方を工夫できる。 ・手のポーズ、動きから表したいことを考えることができる。 ・表したいものの質感をとらえ自分で工夫しモデリングができる ・絵巻物、琳派、浮世絵など日本の美術作品などから良さ美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。
3 学 期	「デザインや工芸など」 ◇ポスターで伝える◇ ○伝えたい内容から構想し、配色、レイアウト、書体学び伝えたい内容を効果的に表現する。 「鑑賞」○ピカソ 池田学 ダミアンハーストに関心を持ち主体的に鑑賞する	・ポスターの機能や意図について理解できる ・伝えたい内容や相手に会ったポスターを考えることができる。 ・レイアウトや配色、書体などの視覚的効果について学び、制作に生かすことができる。 ・アクリル絵の具の特性を生かし表現方法を工夫することができる。 ・生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考え、見方を深めることができる。

3. 評価の観点と方法 （三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している ・材料や用具の生かし方などを身に着け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などをとらえることを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさをもとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。線や形、色彩を工夫して表すことができる。 ・伝える目的や条件などを基に用いる場面社会とのかかわりから主題を生み出し、伝達の効果と美しさを総合的に考え表現構想ができる。 ・日本の伝統的な造形表現を生かし、工夫し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し創造的に表すことができるようになる。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになる。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を深められるようになる。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に進んで生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「デザインや工芸など」 ◇石印・石彫の制作◇ ○篆刻に興味を持ち、伝統技法を生かし工夫した印文字を作成する。 「絵画や彫刻など」 ○抽象的・装飾的な彫刻に関心を持ち彫刻する。 ◇鑑賞◇ ・仏像に興味を持ち主体的に鑑賞する。 ・琳派の造形を鑑賞する	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫し考えた文字を構想することができる。 ・材料の性質を理解し具体的、抽象的な形の構想を練ることができる。 ・限られた形の中で工夫し考え、安全に留意し作業することができる。 ・様々な方向からの形を意識し掘り進めることができる。 ・仏像に特有な表現について理解することができ、時代背景や日本文化とのかかわりを考えることができる。 ・日本の伝統工芸に興味をもち優れたデザインを鑑賞することができる。
2 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇自画像を描く◇ ○自分の今をしっかりと観察し、特徴を捉えたり強調して自分を表現する。 ◇鑑賞◇ ○絵巻物に関心を持ち主体的に鑑賞できる。 ○ゴッホの作品に関心を持ち日本の美術との関係に興味を持って鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身と向き合い、表現の構想を練ることができる。 ・材料の特性を生かし自分らしさを表す方法を工夫出来る。 ・自分らしさを表すことに関心を持ち主体的に取り組んでいる。 ・絵巻物のよさや美しさを感じ取ることができ、美術文化の見方考え方を深めることができる。 ・日本美術が西洋美術に与えた影響について理解する。 ・ゴッホとその作品に関心を持ち主体的に鑑賞できる
3 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇水墨画の世界◇ ○墨の濃淡や筆使いを工夫し水墨画にチャレンジする。 ◇鑑賞◇ ・水墨画や障壁画、浮世絵などの日本の文化史に興味を持ち主体的に鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・墨の性質を理解し効果的な表現方法を工夫できる。 ・墨による特徴を生かし構想を練ることができる。 ・濃淡やにじみなどを効果的に用いて空間の美を表現できる。 ・障壁画や水墨画、浮世絵のよさや美しさを感じ取り美術文化の見方や考え方を深めることができる。

3. 評価の観点と方法（三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の生かし方などを身に着け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解し自分らしさ、生命感などを全体のイメージでとらえることを理解している ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などをとらえることを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・使う目的や条件などを基に使用するものの立場、機智やユーモアなどから使いやすさや美しさなどの調和を総合的に考え表現・構想を練ることができる。 ・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、もとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。線や形、色彩を工夫して表すことができる。 ・日本の伝統的な造形表現を生かし、効果を考え豊かに表現する構想を練ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組んでいる